

2010年度

科目名	日本語学特講		
担当教員	宇都宮 啓吾		
配当	専攻1	コード	24790
開期	通年	講時	火曜日4限
		単位数	4
授業テーマ	日本語表記の歴史を理解し、その応用としての古写本分析の視点や方法を習得する。		
目的と概要	日本語の表記の歴史について、様々な典籍を利用しながら分析していく。特に、仮名の成立や諸符号の発生と変遷といった日本語の知識の応用としての古写本の分析方法についても言及する。そのため、古写本と文化史との関わりについても触れる。		
成績評価法	テスト(80%)と平常点(20%)で総合的に評価します。全講義数の2/3以上出席することが前提です。		
テキスト	特に指定しない。		
参考書	特に指定しない。講義中に紹介する。		
履修に当たっての注意・助言			
講義計画			
1 前期オリエンテーション 2 仮名の成立と変遷(1)：奈良時代以前の表記 3 仮名の成立と変遷(2)：片仮名の成立と変遷 4 仮名の成立と変遷(3)：片仮名字体からみた古写本の分析 5 仮名の成立と変遷(4)：平仮名の成立 6 仮名の成立と変遷(5)：平仮名を巡る諸問題 (御物本『更級日記』) 7 仮名の成立と変遷(6)：平仮名を巡る諸問題 (平家納経) 8 仮名の成立と変遷(7)：平仮名を巡る諸問題 (平家納経) 9 諸符号の成立と変遷(1)：訓点資料の概説 10 諸符号の成立と変遷(2)：声点を巡る諸問題 (平安時代語の復元) 11 諸符号の成立と変遷(3)：声点を巡る諸問題 (親鸞資料の分析) 12 表記と筆記具：角筆文献の概説 13 講義のまとめ(1)：日本語と仏教 14 講義のまとめ(2)：講義の補足・質問対応 15 前期総括 16 後期オリエンテーション 17 典籍分析の視点：発心集を巡る問題 18 訓点資料の研究史(1)：訓点資料の概説 19 訓点資料の研究史(2)：訓点語の概説 20 訓点資料の分析(1)：法会を巡る問題 (中尊寺経) 21 訓点資料の分析(2)：地方写経の訓点 22 訓点資料の分析(3)：「来し方」を巡る問題 23 訓点資料の分析(4)：ヲコト点の概説 24 訓点資料の分析(5)：ヲコト点の概説 25 訓点資料の分析(6)：対外交渉を巡る問題 (義天版) 26 訓点資料の分析(7)：対外交渉を巡る問題 (宝幢院点) 27 聖教の調査 28 講義のまとめ(1)：訓点資料研究の課題 29 講義のまとめ(2)：講義の補足・質問対応 30 後期総括			